

**事業所名** グループホームじーちゃん、ばーちゃんのお家  
(クリックすると事業者の情報にリンクします)

日付 平成17年12月28日

**評価機関名** ㈱東京リーガルマインド  
(クリックすると評価機関の情報にリンクします)

**評価調査員**  
A:現職 生活指導員  
資格・経験 介護支援専門員、★-Aヘルパー2級、社会福祉主事、訪問介護員  
B:現職 介護支援専門員  
資格・経験 音楽療法士、介護福祉士、介護支援専門員、福祉住環境コーディネーター

**自主評価結果を見る** (事業者の自主評価結果にリンクします)

**評価項目の内容を見る** (評価項目にリンクします)

**事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)**  
(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

### 外部評価の結果

**講評**  
全体を通して特に良いと思われる点など(記述)  
駅より徒歩で行ける便利な所にあり、周りは開けた住宅地で裏山も近く、鶴山城に新築された「備中櫓」が白くきれいに望め、自然と市街地の利便性を兼ね備えたロケーションである。

屋内はバリアフリーになっており、居間にはパティオに続く大きなガラス張りの空間や天窓もあり、そこから四季の変化や自然の移り変わりを身近に感じられ、認知症緩和に繋がっている。

隣接する広い畑で土に触れることが認知症進行防止の特長として考え、入居者が安全に、かつ安心して思うがままに屋外で活動することで身体機能を保持し明るい生活へと繋がっている。

2ユニットあり、各々ユニットごとに特長が見られ、それぞれバラエティーに富む認知症介護となっている。

鍵をかけることなく、外出は自由で、毎日日課として散歩等外出している方もある。職員は後からそとついて行き、安全を見守るようにしている。

体表者を始めとして、職員は認知症介護を通じて自分たちも学び向上しようとする姿勢がうかがわれる。中でも、ほとんどの職員が食事作りに堪能で毎日の食卓に潤いが感じられる。

**特に改善の余地があると思われる点(記述)**  
代表者は理想とする新しいホーム運営に強い熱意を持って努力しているが、職員のその考え方をよりよく浸透させ、スタッフのチームワークを醸成し適切なマニュアルを作るなど(服薬管理等)、心をひとつとして誇りと意欲を持って働く職場作りを期待する。

### I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か(記述)		
	<p>ロケーションにある豊かな自然に心を癒され、家庭的な温もりのある快適な生活を職員共々に過ごすことを目標にしている。</p> <p>広い畑や周辺の土地を活用して、何時でも自由に土とふれあい、花を育て、野菜を作り、自然に則した生活で認知症の進行を抑えてゆったりと暮らしてもらうことを目指している。</p> <p>近くの幼稚園・保育園と交流し、地域の町内会との係わりを深める事を予定している。入居者にはふれあいの楽しさを感じていただき、地域に参加して溶け込むホームを目指している。</p> <p>家族は24時間いつでも訪問・面会が可能である。月1回は入居者個人の近況便りを送り、入居者と家族との絆をより太くするように努力している。</p>		

### II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)		
	<p>職員は言葉遣いや物腰に注意し、明るく優しい態度で入居者に接し、信頼関係を大切にしている。</p> <p>天窓・大きなガラスを通して自然の光を取り入れ、室内からも自然が楽しめ、安らぎの場所作りがされている。</p> <p>近くの人の訪問がよくあり、湯茶など一緒に過ごし、精神的にリラックス出来る雰囲気作りをしている。</p>		

### III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

### III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)		
	<p>入居者個々の自主性を尊重し、料理・家事・短歌・カラオケ・農作業等それぞれの経験能力を引き出し生活にメリハリを出せるように取り組んでいる。</p> <p>記録類はきちんと整理され保管されている。入室時のノック・声かけは丁寧に行われ、人生の先輩としての尊厳保持は徹底されている。</p>		

### IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述)		
	<p>介護を通じて自分たちも学び向上するという考えを常にもち、それがケアの質向上に繋がるようにしている。</p> <p>ターミナルケアまで考えた長い目の介護は人間性の根幹に触れており、入居者の安心と信頼感を生み出すように努力している。</p> <p>小さな事故も細かく記録に残し、職員間でよく討議・検討しマニュアルを作り、チェック体制をしっかりと再発防止に取り組んでいる。</p>		